

1

会社の役割と仕組み

本時のねらい

- 会社（企業）の役割を理解する。
- 株式会社の仕組みを理解する。
- 出資（所有）と経営の分離の基礎知識を確認したあと、「会社は誰のものか」について考察し表現する。

学べるキーワード

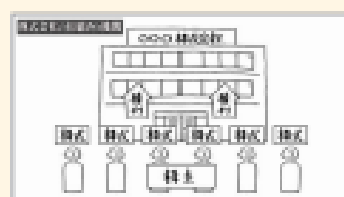
- 株主 ● 株式 ● 株主総会 ● 監査役 ● 取締役会 ● 出資（所有）と経営の分離

動画教材



動画 1

「企業」という組織体の仕組みや、社会で果たすべき主な役割を学ぶとともに、その企業の存続・成長には利益を出すこと、そして「起業家精神」が必要であることを学びます。
(1分17秒)



動画 2

もっとも一般的な企業である「株式会社」の仕組みを学びます。株式会社を運営する機関には、①株主総会・②取締役会・③監査役があります。また、大企業では「出資と経営の分離」が進んでいます。(1分26秒)

資料

アメリカでは、「会社は株主のもの」という考え方が主流であった。一方、日本では、大企業を中心に「会社は社員や従業員の利益のためにある」という考え方が強いと言われている。

学習指導案（20分）

	学習活動	指導上の留意点
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標を理解する。 会社（企業）とは 動画1視聴 ① 動画1を視聴し、ワークブックの空欄に入る語句を選び、記号で埋める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標は、「会社の役割と仕組み」を理解することであることを伝える。 ● 動画1を視聴させ、ワークブックの空欄を選択肢から選んで埋めさせる。1回の視聴で埋まらない場合は、適宜動画を止めながら作業を行わせる。 ① 解答 a [エ 資金]、b [イ 資金]、c [ウ 税金]、d [オ 収益]、e [ア 起業家精神]
展開 15分	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社の仕組み 動画2視聴 ② 動画2を視聴し、ワークブックの空欄を適切な語句で埋める。 ③ 「出資（所有）と経営の分離」について、ワークブックの空欄に入る語句を選び、記号で埋める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画2を視聴させ、ワークブックの図中の空欄を適切な語句で埋めさせる。1回の視聴で埋まらない場合は、適宜動画を止めながら作業を行わせる。 ② 解答 a [株主（投資家）]、b [株式]、c [株主総会]、d [取締役会]、e [監査役] ○ ワークブックの空欄を選択肢から選んで埋めさせる。 ③ 解答 a [イ 配当]、b [ア 株主]、c [エ 出資（所有）]、d [オ 経営] ○ 現代では会社の規模が大きくなると、株主＝「会社の所有者」と社長・取締役＝「専任の経営者」が異なる「出資（所有）と経営の分離」という現象が見られるようになったことを確認させる。
	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社って誰のもの？ ○ 「会社は誰のものですか？」について、以下の手順で答える。 ④ 個人で考える。 ○ ワークブックのさまざまな意見を参考に、「会社は誰のものか」を個人で考え、記入する。 ⑤ グループで考える。 ○ 次にグループになり、「会社は誰のものか」について話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「会社は誰のものか？」と発問し、個人→グループで考察を深めさせる。 ④ 個人で考える。 ○ ワークブックの意見はあくまで参考にとどめ、自分で考えをまとめるよう指導する。 ⑤ グループで考える。 ○ 次にグループになり、「会社は誰のものか」について話し合いを行わせる。 ○ グループの話し合いでは、それまで自分で考えたことを全員が提示するよう指導する。 ○ 話し合いが円滑に進むよう、机間巡視して指導する。 ④⑤ 回答例 ・株主のもの ・社員のもの ・社会のもの ・社長のもの など ◇ 時間があれば、各班の結論を発表させると、クラス全体が考察を共有できる。
まとめ 2分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「まとめ」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「まとめ」は、生徒を指名して読ませる。 ◇ 時間によっては、「会社は誰のものか」について、アメリカと日本の考え方の違いを紹介してもよい。